

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣報告書

(カナダ)

令和8年2月2日

沖縄県議会

目 次

◎ 海外派遣議員団名簿	1
◎ 海外派遣日程	2
◎ 派遣概要	
1日目 令和7年8月25日(月)	
移動日	4
2日目 令和7年8月26日(火)	
アルバータ州政府関連施設訪問	5
3日目 令和7年8月27日(水)	
ロイヤルアルバータ博物館訪問	7
ウェストエドモントンモール視察	8
4日目 令和7年8月28日(木)	
カナディアンロッキー視察	8
5日目 令和7年8月29日(金)	
ヘリテージパーク施設視察	9
6日目 令和7年8月30日(土)	
日加友好庭園にて各県人会プレセレモニー	10
カナダ沖縄県人移民125周年記念式典	11
カナダ沖縄県人移民125周年記念祝賀会	12
7・8日目 令和7年8月31日(日)・9月1日(月)	
移動日	13
◎ 議員所感	
中川 京 貴 議長(団長)	15
山 里 将 雄 議員(副団長)	16
喜屋武 力 議員	17
比 嘉 忍 議員	19
仲 里 全 孝 議員	21
下 地 康 教 議員	23
島 袋 大 議員	25
幸 喜 愛 議員	26
山 内 末 子 議員	28
高 橋 真 議員	31

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣議員団名簿

沖縄県議会 Okinawa Prefectural Assembly

	職名	氏名		所属党派名
1	沖縄県議会議長／団長 Okinawa Prefectural Assembly Speaker	中川 京貴	KYOKI NAKAGAWA	沖縄自民党・無所属の会
2	沖縄県議会議員／副団長 Okinawa Prefectural Assembly member	山里 将雄	MASAO YAMAZATO	ていーだ平和ネット
3	沖縄県議会議員／団員 Okinawa Prefectural Assembly member	喜屋武 力	TSUTOMU KYAN	沖縄自民党・無所属の会
4		比嘉 忍	SHINOBU HIGA	沖縄自民党・無所属の会
5		仲里 全孝	ZENKO NAKAZATO	沖縄自民党・無所属の会
6		下地 康教	YASUNORI SHIMOJI	沖縄自民党・無所属の会
7		島袋 大	DAI SHIMABUKURO	沖縄自民党・無所属の会
8		幸喜 愛	KANASHI KOKI	ていーだ平和ネット
9		山内 末子	SUEKO YAMAUCHI	ていーだ平和ネット
10		高橋 真	MAKOTO TAKAHASHI	公明党

沖縄県議会事務局 Okinawa Prefectural Assembly Secretariat

11	議会事務局次長	宮城 優	YUTAKA MIYAGI
12	秘書室主幹	渡久地 政樹	MASAKI TOGUCHI

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣日程表

カナダ（カルガリー、エドモントン、バンフ、レスブリッジ）

日本との時差
 ・カルガリー -15時間
 ・バンフ -15時間
 ・レスブリッジ -15時間

日付	日程	訪問国 宿泊先
4日目 8/28(木)	ホテルで各自朝食 23:00 8:00 終日カナディアンロッキー視察 自然資源管理、保全生物学、レイクルイーズ、 モレーン湖、雪上車観光視察 4:00 13:00 昼食 9:00 18:00 ホテル着 Chaltons Banff 10:00 19:00 夕食	時差-15時間 バンフ泊
5日目 8/29(金)	ホテルで各自朝食 23:00 8:00 バンフからレスブリッジへ移動（車で約5時間程度） 1:00 10:00 ヘリテージパーク施設視察 3:00 12:00 昼食 7:00 16:00 ホテル着 9:00 18:00 夕食 11:00 20:00 ホテル着 Sandman Signature Lethbridge Lodge	時差-15時間 レスブリッジ泊
6日目 8/30(土)	ホテルで各自朝食 1:00 10:00 日加友好庭園にて各県人会によるエイサー・三線披露 3:00 12:00 昼食 13:30 カナダ沖縄県人移民125周年記念式典 アーチマウント墓地、マウンテンビュー墓地 8:30 17:30 カナダ沖縄県人移民125周年記念祝賀会 11:00 20:00 レスブリッジからカルガリーへ移動（車で約4時間程度） 14:00 23:00 ホテル着 Sandman Signature Calgary Airport Hotel	時差-15時間 カルガリー空港
7日目 8/31(日)	21:00 6:00 空港へ移動 21:30 6:30 カルガリー空港到着 手荷物預け、出国手続き 23:30 8:30 カルガリー空港発 ※ウェストジェット1510便（3時間23分） 0:53 10:53 ロサンゼルス空港着後、国際線乗継手続き 2:15 14:15 ロサンゼルス空港発 ※JAL015便（11時間10分） ~~~~日付変更線通過~~~~	時差-16時間 機内泊
8日目 9/1(月)	17:25 羽田空港着後、国内線乗継手続き 20:05 羽田空港発 ※JAL925便（2時間40分） 22:30 那覇空港着 ※手荷物受け取り後、解散式 23:15 県議会到着 ~解散~	

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣報告書

- 1 期 間 令和7年8月25日～9月1日（8日間）
- 2 派遣場所 カナダ（カルガリー、エドモントン、バンフ、レスブリッジ）
- 3 派遣議員 別紙名簿のとおり（派遣議員10人、随員職員2人）
- 4 目 的 カナダ・レスブリッジで開催される「カナダ沖縄県人移民125周年記念式典」へ参加するとともに、現地沖縄県人会との交流・意見交換、政府・行政機関への訪問、文化資源・観光資源の視察調査を行い、県政の施策展開への反映等、今後の議会活動に資することを目的とする。

5 派遣概要

1日目 令和7年8月25日（月）

～移動日～

那覇空港から羽田空港、サンフランシスコ国際空港（アメリカ）を経由し、カルガリー国際空港（カナダ）へ。往路の飛行時間は、計14時間59分。

- 那覇空港 → 羽田空港 : 2時間35分
- 羽田空港 → サンフランシスコ空港 : 9時間40分
- サンフランシスコ空港 → カルガリー空港 : 2時間44分

◆ サンフランシスコ（アメリカ）

経由地であるサンフランシスコでは、現地スーパーマーケットや著名な観光地であるフィッシャーマンズワーフ等において、物価状況や外国人観光客の受入体制等について、視察を行った。

◆ カルガリー（カナダ）

カルガリー空港に到着したのは現地時間22:00頃であった。（日本時間翌日13:00頃）保安検査場を出たところで、Calgary Okinawan Club（カルガリー沖縄県人会）の大久会長が御多忙中にもかかわらず出迎えてくださった。現地では横断幕や三線の演奏で手厚い歓迎を受ける。



【Calgary Okinawan Club の皆様と議員団】

2日目 令和7年8月26日（火）

(1) アルバータ州政府関連施設訪問（12:30~16:30）

・アルバータ州議会 議長訪問（12:30~13:00）

アルバータ州議長である Ric McIver 氏への表敬訪問にて、Queen Elizabeth II Building を訪問。挨拶、自己紹介、意見交換をする場が設けられた。また、双方ギフト交換を行った。

<中川議長 挨拶>

世界情勢や物価高騰によって日本の畜産業界は大変な打撃を受けている。アルバータ州は人口の増加や産業、経済の発展など住みよい街づくりを行っていることを認識しており、本日は発展的な意見交換になることを期待しております。

<Ric McIver 議長 挨拶>

遠くから足を運んでいただき感謝しております。アルバータ州は人口 500 万人に対し、議員数は 87 名です。

日本や沖縄に対して我々も学ぶことが多いと考えているため、両国、両地域の共通点、相違点を注目しながら、有意義な意見交換の場にしたい。

<Ric McIver 議長 質問>

現在、沖縄県議会の中で重要な問題として取り上げられている議題は何でしょうか。

<中川議長 回答>

全国的な少子高齢化、人口減少がある中、沖縄は人口減少が起こっていない。議会では今後のこれらの影響を踏まえた経済政策についての議論が多い。アルバータ州は順調に人口が増加しているそうですがその主な要因は何でしょうか。

<Ric McIver 議長 回答>

アルバータ州が人口増加している大きな要因は移民の受入れであり、移民の受入れを除くと人口減少にある。



【左から2番目 Ric McIver 議長】

・ アルバータ州議会 議事堂視察 (13:00~14:45)

Ric McIver 議長自ら議会を案内していただいた。

視察では議会内のレイアウトについての説明や歴代議長の説明等が行われた。



【アルバータ州議会】 【模型を用いて議会の説明を受ける様子】 【中央 Ric McIver 議長】

・ アルバータ州 観光局意見交換 (14:45~16:15)

観光局よりアルバータ州の輸出、国際パートナーシップ、福祉・教育、観光政策についての説明が行われた。観光政策については日本からの観光客増加を目指しており、航空会社と連携しアルバータ州カルガリーと成田空港の直行便の運航にも取り組んでいることが説明された。意見交換では、アルバータ州と沖縄県との姉妹都市提携の提案が行われた。



【姉妹都市提携の提案を行う高橋議員】 【左から山里議員、中川議長、Chris Ryan 局長】



【中央左手 Chris Ryan 局長、中央右手 Miranda Rosin 氏】
※Chris Ryan 氏：行政府国際化局長 ※Miranda Rosin 氏：観光局戦略部部長

3日目 令和7年8月27日(水)

(1) ロイヤルアルバータ博物館訪問 (10:00~11:00)

国立博物館を訪問し、次世代への歴史・文化の保存、継承という観点から視察を行った。国立博物館では先住民の暮らしやカナダ発展の歴史についての展示があり、映像やデジタル技術を活用した展示方法についての知見を深めた。



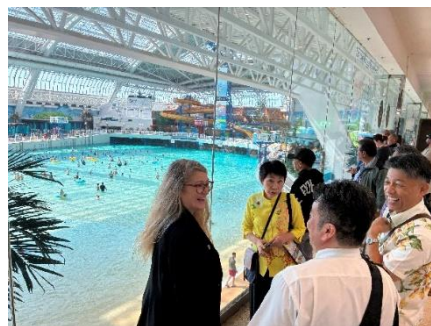
【先住民の暮らし展示を視察する様子】

(2) ウェストエドモントンモール視察 (12:30~15:00)

カナダアルバータ州にある北米最大、世界で 23 番目の規模をもつ複合商業施設にて視察を実施。現地スタッフに MICE 施設の概要説明や施設案内していただいた。

天候に左右されない観光の先進的取組として、屋内プール、スケートリンク、遊園地の視察を実施。同施設にはホテルも併設されており、買物、食事、アトラクション、滞在、会議、挙式などの様々なニーズにこたえることのできる施設となっている。

年間延来場者は 3,080 万人となっており、観光の目的地としての役割を担っているが、運営当初は交通渋滞などの問題も発生しており、施設付近に在住している方の協力や理解を得るために子供向けのイベント等の活動も積極的に行っている。大規模な複合型施設を運営する際の住民理解の重要性が感じられる。



【屋内プール】



【屋内アイススケートリンク】



【屋内遊園地】

4 日目 令和 7 年 8 月 28 日 (木)

(1) カナディアンロッキー視察 (8:00~18:00)

カルガリーから車で約 1 時間 30 分程度の場所に位置するバンフの視察を実施。

バンフでは自然環境保全と観光振興の両立に関する視察、大自然を活かした観光コンテンツ開発の視察を行った。

具体的な視察内容として、動物の生息エリアを道路で分断しないためのオーバーパス・アンダーパスの視察、熊との共生のための取組、オーバーツーリズム対策としての入場制限施策の見学を行った。また、ジャスパー国立公園にある北半球最大規模の氷原「コロンビア大氷原」にて、観光コンテンツ開発や運営方法についての視察を実施した。



【熊被害を削減するために設置されたごみ箱】



【1台 50名乗りの氷上バス】



【氷原ツアー参加者の様子】

5日目 令和7年8月29日（金）

(1) ヘリテージパーク施設視察（10:00~12:00）

1860~1950年代のカナダの町並みを再現した施設となっており、入植者たちの当時の暮らしを見学した。当施設は歴史的な建造物の保護という観点に加えて、当時の衣装をまとったスタッフとの会話や昔ながらのアトラクションを充実させることで「多角的な体験」を提供しており、沖縄観光における歴史文化資源の保護やインバウンド誘致への取組事例として視察を行った。観光地における雇用創出という役割も担っている。



【蒸気機関車に乗車し施設内を視察】

6日目 令和7年8月30日(土)

(1) 日加友好庭園にて各県人会プレセレモニー (10:00~12:00)

アルバータ州レスブリッジにある日加友好庭園にて、カナダ県人会によるセレモニーへ参加。レスブリッジ沖縄文化協会及びカルガリーオキナワクラブによるエイサーや三線等の文化芸能活動を見学した。



(中川議長来賓あいさつ)

沖縄県議会を代表し、この地に眠る御霊に謹んで哀悼の誠を捧げます。

沖縄におけるカナダ移民の歴史は、1900年に渡った牧志安能氏など、先人たちの挑戦から始まり、以後、沖縄からの移民は、北米や南米など世界各地へと広がりを見せました。

遠く故郷を離れ、言葉も文化も異なる環境において大変な苦労があったものと存じます。新たな土地でふるさと沖縄を思い、不屈の精神で励まれた歩みは、二世、三世へと受け継がれ、私たち沖縄県民もその苦労に思いを致すところです。

今や、県系人社会も、確固たる地位を築き、幅広い分野で目覚ましい活躍を見せながら、125年経ってもなお、先人の苦労を忘れず、喜びを共に分かち合う強い絆を保ち続けています。

皆さんが流した汗は、今に引き継がれています。世代が変わっても、ルーツを共にする私たちは、沖縄でウチナーネットワークを育み、その開拓者精神を忘れずに更なる道を拓き、歩みを進めていきます。

結びに、カナダ移民の先駆者たる先人たちの御霊の御冥福を心よりお祈り申し上げ、追悼のことばといたします。

(2) カナダ沖縄県人移民 125 周年記念式典 (13:30~15:15)

・アーチマウント墓地

レスブリッジにあるアーチマウント墓地を訪問し、沖縄カナダ協会の会長である大山氏、池田副知事とともに、牧志安能氏のご家族ら総勢 60 名らと献花を行った。



・マウンテンビュー墓地

沖縄県系の方が多く眠るマウンテンビュー墓地を訪問。各議員は県系人に献花を行った。



【沖縄県系人の墓地にて献花をする様子：中川議長、高橋議員、山里議員】

(3) カナダ沖縄県人移民 125 周年記念祝賀会 (17:30~19:30)

アルバータ州レスブリッジ内にあるサンドマンロッジホテルにて、カナダ県人会主催のカナダ沖縄県人会移民 125 周年記念式典へ参加。

会場には各県人会から多くの人々が参加しており、県知事と県議会議員から感謝状を贈呈された移住功労者及び高齢者を祝福するなどした。



【祝賀会場の様子】



【レスブリッジ沖縄文化協会
Ryan Nakama 氏への賞状贈呈】

(中川議長来賓あいさつ)

本日ここに、カナダ沖縄県人移民 125 周年祝賀会が開催されるにあたり、沖縄県議会を代表し御挨拶申し上げます。

先に行われました記念式典、並びに本祝賀会の開催、誠におめでとうございます。開催に際して御尽力いただきました全ての皆様に対し、深い敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。

1900 年に沖縄からカナダへ、首里出身の牧志安能氏が移民を果たして以来、契約移民や雇用労務者と呼ばれる方々の移住が進み、多くが鉄道敷設や炭鉱作業などに従事されたと同っております。言語や習慣、風土の違いに大変な苦労があったものと存じますが、そのような中、日本からカキを持ち込んで養殖を行い、「世界のカキ王」と呼ばれるほどの成功を取めた大宜味村出身の宮城新昌氏など、先人の活躍は沖縄県民としても誇らしいものがあります。

その後、日米開戦を経て敵国人とされた日系人は、財産没収や収容所送りなどの悲劇に見舞われますが、戦後、レスブリッジの県系人は、「在カナダ沖縄救援連盟」を組織し、戦争で荒廃した故郷沖縄への助けとすべく、多くの物資を送りました。遠く離れても家族を思い、沖縄を愛するウチナーンチュの原点がここにあり、世代を超えて今に至る強い絆となっていることを改めて感じるどころです。

沖縄と世界のウチナーンチュの結びつきは、ますます強くなっていきます。再来年の 2027 年 10 月には、8 回目となる世界のウチナーンチュ大会が予定されておりますが、それに先駆けて去る 6 月に「北米沖縄県人会サミット」が開催され、県人会活動の活性化や大会を盛り上げるアイデアなど、活発な議論・提案がなされたところです。こうした様々な提言につきましても、沖縄県議会としても知事と連携しながらウチナーネットワークの更なる発展を推進し、皆様と共に来る大会を成功させたいと思います。

結びに、カナダ及びカナダ沖縄県連合会の限りない御発展を祈念して、祝辞といたします。

7 日目 令和 7 年 8 月 31 日 (日)、8 日目 令和 7 年 9 月 1 日 (月)

～移動日～

カルガリー国際空港 (カナダ) からロサンゼルス国際空港 (アメリカ)、羽田空港を経由して那覇空港へ。復路の飛行時間は、計 17 時間 13 分

- カルガリー国際空港 → ロサンゼルス国際空港 : 3 時間 23 分
- ロサンゼルス国際空港 → 羽田空港 : 11 時間 10 分
- 羽田空港 → 那覇空港 : 2 時間 40 分

沖縄県議会議員団所感

- 1, 団 長 中川 京 貴 (沖縄自民党・無所属の会) 15
- 2, 副団長 山 里 将 雄 (ていーだ平和ネット) 16
- 3, 団 員 喜屋武 力 (沖縄自民党・無所属の会) 17
- 4, 団 員 比 嘉 忍 (沖縄自民党・無所属の会) 19
- 5, 団 員 仲 里 全 孝 (沖縄自民党・無所属の会) 21
- 6, 団 員 下 地 康 教 (沖縄自民党・無所属の会) 23
- 7, 団 員 島 袋 大 (沖縄自民党・無所属の会) 25
- 8, 団 員 幸 喜 愛 (ていーだ平和ネット) 26
- 9, 団 員 山 内 末 子 (ていーだ平和ネット) 28
- 10, 団 員 高 橋 真 (公明党) 31

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣（カナダ）に係る団員の所感について 1

会派名：沖縄自民党・無所属の会

氏名：中川 京貴

令和7年8月25日～9月1日迄の8日間

カナダ沖縄県人会移民125周年記念式典に、沖縄県議会議長、団長として参加したカナダで活躍する沖縄県人会の皆様との交流を通して意見交換を行うとともに、県人会が経営する事業所の視察を行った。

又、アルバータ州議会を訪問して現地の経済状況等、産業、観光、教育等についての意見交換を行いました。

アルバータ州は、農業やエネルギー産業が中心で、オイルサンドや鉱物資源の主要な供給基地となっている。

ロイヤルアルバータ博物館では世界有数の恐竜化石の宝庫であり、多くの恐竜化石が発掘されており、カナダの先住民族の歴史やイギリスやフランスの植民地時代の歴史を学ぶことができた。

日加友好庭園での県人会によるエイサーや三線披露等両国の歴史や文化交流を通して、文化芸能の歴史と地域社会への貢献を知ることができた。

先人たちが築いた移民の歴史と伝統・継承をこれからも継続していくために県人会と連携を図り、これからの政務活動に取り組んでいきたいと思う。

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣（カナダ）に係る団員の所感について 2

会派名：ていーだ平和ネット

氏 名：山里 将雄

2025年8月25日から9月1日まで、沖縄県議会議員海外派遣の一員としてカナダ・アルバータ州を訪問しました。今回の訪問は、カナダ移民125周年記念式典への出席と視察研修を目的としたもので、初めて訪れる地で多くの貴重な経験をさせていただきました。

アルバータ州議会では、議会棟の視察や議員との意見交換を通して、カナダの議会制度や多文化社会の中での政策運営の実際に触れることができました。多様な価値観を尊重しながら議論を重ね、合意形成を図る姿勢はとても印象的で参考になるものでした。

また、カナダ県人会が主催する移民125周年記念式典・交流会に参加し、現地で活躍されている県系人の皆さんと心温まる交流を行いました。式典に先立って日加友好庭園において、各県人会によるエイサーや琉舞、そしてサンシンの演奏などを見せていただき、遠く離れた地で、沖縄の文化や心が大切に受け継がれていることに深い感動を覚え、先人の努力と歩みに改めて敬意を抱きました。

更にカナディアンロッキーの雄大な自然にも触れることができ、その壮大な景観に心を奪われました。自然と人が調和する姿勢はとても素晴らしく、特に熊や鹿などの動物に対する意識は沖縄の環境保全や観光振興を考える上で大きな示唆となりました。

今回の訪問で得た気づきや感動を、今後の議会活動にも生かし、沖縄の発展に役立てていきたいと思っております。この貴重な機会をいただいたことに感謝します。

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣（カナダ）に係る団員の所感について 3

会派名：沖縄自民党・無所属の会

氏名：喜屋武 カ

目的：カナダレスブリッジで開催される「カナダ沖縄県人会移民125周年記念式典」へ参加すると共に現地沖縄県人会との交流、意見交換、政府行政機関へ訪問、文化資源、観光資源の視察調査を行い、県政の施策展開への反映等、今後の議会活動に資する事

参加者：（議員10名、職員2名、添乗員1名）計13名

8月25日：那覇発羽田経由サンフランシスコ→カルガリー空港着ホテルへ

8月26日：カルガリーからエドモントンへ移動、アルバータ州政府関連施設訪問、現地州議会議長と意見交換、州議事堂庁舎視察 アルバータ州執行部役員と意見交換会（文化資源観光資源の視察調査等）

質問事項：公立学校は基本的に無償教育で、多文化主義と聞いているが内容を聞きたい。移住してきた人たちの仕事、生計維持、職種なども伺いたい。日本人学校はあるのか。

回答：日本人学校はないが、日本人が多数在籍する学校はある。基本無償教育である。

州は石油産出が主な職で、日本人は商業や農業で活躍し生産性を上げている。

カナダでも治安のいい州で観光客を誘致し、観光収入が上がるよう期待している。

8月27日：ロイヤルアルバータ博物館視察、ウェストエドモントンモール視察、施設管理者運営事業社とMICE 関連施設が一体となったまちづくり、周辺地域との連携協働、住民理解の取組など意見交換

8月28日：カナディアンロッキー視察 自然資源管理、保全生物学レイクルーズ

（地球温暖化による氷河は毎年溶け、数年後には今残っている氷河は完全になくなり全滅するだろう）

8月30日：日加友好庭園にて各県人会によるエイサー琉球民謡三線披露交流会、カナダ沖縄県人会移民125周年記念式典（アーチマウント墓地）カナダ移民の父・牧志安能氏の墓前での式典と日本人墓2箇所での慰霊祭、ホテルにて祝賀会 約300人を超える県人会の人々がカナダ各州から集い池田副

知事、州議長が祝辞を述べ、功績を称え感謝状贈呈。2027年の世界のウチナンチュ大会への案内招待を告げる。

(多くの県出身者と話し合いの中で、自分の生まれた地域のことをくまなく愛し、会いたい人たちもいるが、遠く離れたところから親戚や友人知人のことを思い、他国で頑張っている思いが伝わってきた。外国で暮らしている人たちの中には沖縄県人というのは残っていて、特に各地域の方言が純粹に残っているのが沖縄への思いと受け止めた)

8月31日：カルガリーからロサンゼルス→羽田経由那覇空港帰国。

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣（カナダ）に係る団員の所感について 4

会派名：自民党・無所属の会

氏名：比嘉 忍

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣は、レスブリッジで開催される「カナダ沖縄県人移民125周年記念式典」へ参加するとともに、現地沖縄県人会との交流・意見交換、政府、行政機関への訪問、文化資源・観光資源の視察調査を行い、県政への施策展開への反映等、今後の議会活動に資する事を目的に、8月25日から9月1日までの8日間で、多くの貴重な経験をさせていただきました。

初日は、カナダカルガリーまでの移動で、途中経由地の米国サンフランシスコにて、現地スーパーマーケット、フィッシャーマンズワーフ等視察、スーパーマーケットでは、現地の物価状況、人気商品についての説明を受け、米国人の日常を体験する事ができた。カルガリー空港には現地時間、25日月曜日の22時頃到着でしたが、カルガリー県人会の皆様約10人が三線でお出迎えしていただきました。

以後 現地時間

26日は、カルガリーからエドモントンへ移動し、アルバータ州議会議長との意見交換、移動して州議会議事堂の視察説明を受けました。その後、州政府庁舎へ移動して、州政府職員との意見交換。まず州政府職員によります、アルバータ州の現状並びに観光政策の取組について説明を受けました。

アルバータ州は、農業やエネルギー産業が中心産業で、特にオイルサンドや鉱物資源の主要な供給基地となっている中、観光産業で特に日本人を意識して力を入れていくとのこと。

観光施策では、山や川等自然を生かした観光施設、世界遺産への登録、地元食材を生かした新たな料理の開発に取り組んでいる。日本への直行便も運航しており、日本のマスメディア訪問等も計画中。

観光立県である沖縄との連携ができないか、提案させていただきました。沖縄県としても連携模索を提案していきたい。

途中、うるま市出身の方が経営するレストランを視察、最新の調理システムの導入や集客に向けた取組などもオーナー様から説明を受けました。ウチナンチュのパワーを感じた次第であります。

27日は、ロイヤルアルバータ博物館視察、ウェストエドモントンモールの視察。

特にウェストエドモントンモールは、1981年（約40年前）に開設しておりますが、関連施設を含む、年間3000万人の来場者との事、遊園地、ミニゴルフ場、室内スケートリング及び室内プール等といった、規模や発想など

先進的であり、老若男女楽しめる施設である。

28日は、カナダの自然資源管理の観点からのカナディアンロッキーの視察。まるでテーマパーク。沖縄をはじめ日本においても、このような発想が必要と考える。

30日は、主な目的であります、日加友好庭園でのイベントにて、各県人会による、エイサー、三線、獅子舞の鑑賞、アーチマウント墓地にて慰霊祭参加。カナダ沖縄県人移民125周年記念式典への参加でした。現地県人会の皆様との交流意見交換を通して、県人会皆様の強い絆と沖縄に対する強い郷土愛を感じました。又、県が実施しておりますエイサーや三線の指導者派遣事業の継続と更なる充実の要望もいただきました。

今回の派遣において、カナダ沖縄県人会の皆様の強力な絆や連携、経済活動においても貢献度が多大であると実感致しました。県人会の皆様の活動を今後とも継続して強かに支援していくべきである。

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣（カナダ）に係る団員の所感について 5

会派名：沖縄自民党・無所属の会

氏名：仲里 全孝

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣は、8月25日（月）～9月1日（月）までの期間、カナダ・カルガリーを訪問し、沖縄から最初の移民団がカナダへ渡航してから125年の節目にあたることから、移住125周年記念式典行事をはじめ、カナダ沖縄県人会との交流意・見交換、カルガリー州議会の意見交流会を行うとともに、現地の経済状況等、県系人が経営する事業所等の視察を実施し、これらを通じて今後の沖縄県議会活動に資することを目的とした。

2025年8月25日（月）10:05：サンフランシスコ空港到着視察内容：ゴールデンゲートブリッジ、フィッシャーマンズワーフ

感想：サンフランシスコは街全体が観光資源として魅力的で、景観と文化の融合が印象的でした。特にツインピークスからの眺めは圧巻で、都市計画や観光施策の参考となった。

2025年8月26日（火）08:00：カルガリーからエドモントンへ移動
12:30：行政視察訪問（クイーンエリザベス棟で議長・議事堂視察、意見交換）

感想：行政運営や議事堂の機能・デザインを実際に体感でき、議会運営の効率化や市民への開かれた行政の在り方について多くの学びがありました。

2025年8月27日（水）、
10:00～15:00：エドモントン視察（ロイヤルアルバータ博物館、ウェストエドモントンモール）

感想：博物館では地域の歴史・自然を体系的に学べ、教育・文化施策の参考になりました。エドモントンモールは、MICE施設と商業施設の融合や地域住民との連携が非常に先進的で、まちづくりのヒントが多く得られました。

2025年8月28日（木）、
08:00～18:00：カナディアンロッキー視察（自然資源管理、レイクルーズ、モレーン湖、雪上車）

感想：雄大な自然と湖の美しさに感動。特にモレーン湖の青さは圧巻で、自然保護と観光の両立の難しさと重要性を実感しました。雪上車での視察は、冬季のアクセスや環境への配慮を考える上で参考になりました。

2025年8月29日（金）08:00：カルガリーからレスブリッジへ移動、
視察内容：ヘリテージパーク
感想：歴史的建造物や交易所を通して、地域文化や先住民の歴史を学ぶことができ、文化資源の保全と観光活用のバランスについて考える良い機会となりました。

2025年8月30日（土）10:00～19:30：日加友好庭園での行事で各県人会によるエイサー・三線披露、カナダ沖縄県人移民125周年記念式典、アーチマウント墓地、マウンテンビュー墓地訪問、祝賀会参加、
感想：日加両国の歴史や文化交流を肌で感じることができ、特に移民の歴史や地域社会への貢献を知る貴重な機会でした。式典での交流は、今後の国際的なネットワーク形成にも大きな示唆を与えました。

2025年8月31日（日）WS1510：カルガリー国際空港発 → ロサンゼルス空港着、JAL015：ロサンゼルス空港発
感想：移動日でありながら、各地での学びや体験を振り返る時間として有意義でした。

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣（カナダ）に係る団員の所感について 6

会派名：沖縄自民党・無所属の会

氏名：下地 康教

令和7年度沖縄県議会議員海外視察団は、中川議長を団長に以下9名の県議団と議会事務局随員2名からなる構成にて8月25日から9月1日迄の8日間に及ぶ日程にてカナダ国を訪問しました。その主な目的は沖縄県人がカナダに移民として入植して以来125周年を迎えることから、「沖縄県人カナダ移民125周年記念式典」に参加するとともに、併せてカナダ・アルバータ州議会を訪問し、州議会の歴史や仕組み、経済、産業、観光、教育などについて意見交換を行いました。そして、カナダで活躍する沖縄県人会のみなさんとの交流を通して意見交換を行うとともに県系人が経営する事業所の視察なども行いました。これらの視察を通して、今後の議会活動へ資することを目的とするものである。

【日程】

- 8月25日：[移動日] 現地時間21:49 カルガリー空港到着。
- 26日：[アルバータ州議会訪問] 州議会議長含め、観光、教育、経済、産業等の専門家を交え意見交換及び、議会施設を見学する。
- 27日：[ロイヤルアルバータ博物館] アルバータ州は世界有数の恐竜化石の宝庫であり多くの恐竜化石が発掘されており、カナダの先住民の歴史やイギリスやフランスの植民地時代の歴史を学ぶことができた。
- [ウェストエドモントンモール] 北米最大、世界でも有数な規模を持つショッピングモールを見学する。総面積35万㎡（東京ドーム7.5個分）、1981年に開業し、800の専門店と2万台の駐車場、遊園地、映画館、巨大プール、スケート場、ゴルフ場、ホテルなどの施設があり、年間3千万人の来場者を誇る。（82,000人/日）
- 28日：[カナディアンロッキー見学] カナディアンロッキーを代表するレイクルーズ、モレーン湖、氷河観察などにより自然資源管理を学ぶ。
- 29日：[ヘリテージパーク] 先住民文化から開拓時代、20世紀初頭までの時代ごとに再現されたテーマパークによりカナダの歴史を学ぶ。
- 30日：[日加友好庭園] 沖縄県人フェスティバル参加。

[カナダ沖縄県人移民 125 周年記念式典] (アーチマウント墓地) 125 年前の 1900 年にカナダに最初、移民として渡った牧志安能氏の墓石前にて子孫やカナダ県人会関係者と共に墓参を行う。

[125 周年記念祝賀会] レスブリッジの「サンドマンホテル」にて祝賀会。レスブリッジ沖縄文化協会会長やバンクーバー沖縄県友愛会会長への功労賞授与やカナダ県人会によるエイサー、沖縄 民謡などが披露され友好を深めた。

8 月 31 日 : [帰路] 8:30 カルガリー空港を出発。ロサンゼルス空港経由にて翌 9 月 1 日 17:15 羽田空港に到着。20:05 羽田発 22:30 那覇空港着。空港にて解散。

【所感】

今から 125 年前の 1900 年に沖縄県人として初めて、那覇市久米出身の「牧志安能」氏と那覇市泊出身の「親泊康善」氏二人が海を渡りカナダの地に足を踏み入れた。当初大陸横断鉄道建設に多くの沖縄県人が建設労働力として従事したが、鉄道工事が一段落するとブリティッシュコロンビア州沿岸の漁業や製材業、農場労働に従事して行った。特に、バンクーバー島やフレージャー川流域のサケ漁業には、沖縄県人移民が深くかかわっており、その後多くの沖縄県民のカナダ移民へとつながっていくこととなった。

そして戦後の沖縄では、1948 年に戦傷者を感染症から救うため在カナダ救援連盟を立ち上げ、沖縄復興を願いカナダからペニシリン等の医薬品を届けカナダ沖縄移民の礎を築いている。

これまで多くの沖縄県人がカナダに移り住み、沖縄県人の絆と沖縄文化を守り育て、カナダの地に根付いていることに深く感銘を受け、これからのカナダと沖縄の交流を発展させるとともに、世界に飛び出して行った沖縄県人の心意気と勇気を改めて感じる事ができる視察であった。

世界に広がる沖縄ネットワークの発展と「世界のウチナーンチュ大会」の深化をめざし、これからの政務活動に今回の視察を活かして行きたい。

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣（カナダ）に係る団員の所感について 7

会派名：沖縄自民党・無所属の会

氏名：島袋 大

サンフランシスコ 到着後に視察を行った。

サンフランシスコは観光資源や施設が充実しており、特に印象的だったのは、いち早く無人タクシーが走り、アプリで呼べる点である。オートロックシステムで防犯面も優れており、女性でも安心して利用できるシステムは素晴らしいと感じた。公共交通が多い我が県においても、早急に対応できるシステム構築が重要だと感じた。

カルガリー到着後には、自然資源管理や雄大な湖、雪上車、観光活用などに関する意見交換、歴史文化、建造物、議会での議長との意見交換などを行った。その後、今回の視察の最大の目的である日加友好庭園での移民125周年記念式典に参加した。県人会によるエイサー、三線、カチャーシーなど、沖縄の文化をしっかりと学び継承している姿を見て、来年開催予定のウチナーンチュ大会も楽しみである。日加両国との歴史や文化交流を感じ、移民の歴史などを学んだ。

アーチマウント墓地では慰霊祭が行われ、先人のウチナーンチュの苦労を感じたところである。

沖縄県人の深い絆とウチナー文化を守り育てながら、カナダと沖縄のネットワークを強くしてきたと感じた。2027年の世界のウチナーンチュ大会に向けて、今回の視察を参考に素晴らしい大会にしたい。

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣（カナダ）に係る団員の所感について 8

会派名：ていーだ平和ネット

氏名：幸喜 愛

令和7年度沖縄県議会議員海外視察団は、中川議長を団長とし、9名の議員と議会事務局随員2名の構成にて、8月25日から9月1日までの8日間、カナダ国アルバータ州及びブリティッシュコロンビア州を訪問した。

本派遣の主な目的は、沖縄県人がカナダに移民として入植して以来125周年を迎えることを記念し、「沖縄県人カナダ移民125周年記念式典」に参加するとともに、カナダにおける議会制度や地域経済、観光、教育等についての意見交換を行い、さらに現地で活躍する県系人会との交流や、県系人が経営する事業所の視察を通じて、沖縄とカナダの友好・交流の発展に資することを目的とするものである。

<日程>

・ 8月25日 移動日。カルガリー空港着。

・ 8月26日 アルバータ州議会訪問。

議会議長および関係者との意見交換、施設見学。観光政策や教育制度、資源産業等について意見交換。

・ 8月27日 ロイヤルアルバータ博物館視察。

先住民族文化やカナダの開拓史を学ぶ。

ウェストエドモントンモール見学により観光・商業開発と地域経済の関連性を確認。

・ 8月28日 カナディアンロッキー視察。

レイクルーズや氷河視察を通じ、自然環境保全と観光利用の両立を学習。

・ 8月29日 ヘリテージパーク見学。

移民史と地域社会形成を理解。

・ 8月30日 日加友好庭園にて沖縄県人フェスティバル参加。

引き続き「沖縄県人カナダ移民 125 周年記念式典」に参列し、初期移民者牧志安能氏らの墓参を実施。夜には記念祝賀会に出席し、県系人会による伝統芸能を通じて友好を深めた。

・ 8月31日～9月1日 帰路。カルガリー発、羽田経由、那覇空港に到着・解散。

<所感>

今回、私にとって初めての海外視察となったが、派遣団の一員として歴史あるカナダの地を訪れ、沖縄移民 125 周年という節目に立ち会えたことは、大変意義深い経験であった。

アルバータ州における観光政策や自然資源管理、巨大商業施設を核とした都市経済の展開は、沖縄の観光・地域振興施策を考えるうえで貴重な示唆を与えるものであった。特に自然環境保護と観光利用の調和、地域住民の声を重視した観光運営の姿勢は、沖縄が直面する観光公害や環境負荷軽減策を検討する上で大いに参考となる。

視察の各場面では女性が説明や案内を担うことが多く、その専門的知見と自信に満ちた姿勢は非常に印象的であった。社会における男女の役割に差が見られず、能力に応じて活躍できる環境が整えられている国であると強く実感した。これは、沖縄における男女共同参画推進の取組にも大いに資する学びとなった。

また、異国の地であっても、沖縄のアイデンティティーを守り続けてきた先人の努力と、現地の県系人会の活動の重みを強く実感したところである。移民 1 世から受け継がれてきた沖縄の文化が、歌や三線、言葉（ウチナーグチ）として息づき、若い世代に自然に伝承されている姿に深い感銘を受けた。

この視察を通して、世界に広がるウチナーンチュの絆を改めて認識するとともに、「世界のウチナーンチュ大会」や国際交流の深化に今回の成果を生かせるよう、県議会における政策形成においても、移民史から学ぶ「地域の持続可能性」と「国際的なつながり」、そして「男女共同参画の推進」の重要性を発信していきたい。

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣（カナダ）に係る団員の所感について 9

会派名：ていーだ平和ネット

氏名：山内 末子

世界に先駆けて多文化共生主義をうたったカナダは「移民の国」ともいわれている。125年前に沖縄から移住してきた先人たちの勇気とウチナンチュ魂で異国の地に根づくその歴史に触れ、現在そして将来に向けてもしっかり引き継がれていることを確認した密度の高い視察研修でした。アルバータ州4つの県人会の皆様には本当にお世話になりました。心からの感謝と異国の地にて活躍されている皆様のご奮闘を称えたいと思います。

・那覇空港から、羽田、サンフランシスコを經由しカルガリー空港

私にとっては3度目のカナダ訪問・県人会との交流です。空港には夜遅い時間にも関わらず、旧知の仲であるカルガリー沖縄県人会の大久典子会長や県人会の皆さんそのお子さんたちがお出迎えをしてくれました。久しぶりの再会は長旅の疲れも忘れさせ翌日からのハードなスケジュールのカナダ滞在への期待感へと胸が高まります。

・アルバータ州議会

イギリスの支配下であったことから、ビクトリア女王の娘であるルイーザ・キャロライン・アルバータ王女にちなんで「アルバータ」と命名されたとのこと。議会内の装飾もイギリス王朝の雰囲気漂いその歴史が至る所に残っています。広々とした議会施設の庭で子どもたちが水遊びをしている風景はわが国では中々見られない、市民に開かれた親しみやすさを持った議会ということいえるでしょう。カナダ・アルバータ州議会において議長や担当部局との意見交換はとても有意義な会議であった。

アルバータ州の経済産業・観光・教育・文化について説明があった。産業においては羨ましい程の広大な面積の土地に豊富な天然資源を有し、カナダ経済の重要な部門である。近年は3000以上のテクノロジー企業が盛んで産業の可能性が大きく広がっているとの説明がありました。

観光について、カナディアンロッキー・世界的に有名なバンフ国立公園などの自然を生かした観光で一年中世界中からの観光客でにぎわっているとのこと。

教育分野ではハイテク人材を育成する優れた高等教育機関が多く、航空宇宙産業が活発化するなどその人材育成に注目が高まっています。北海道と姉妹都市提携を結んでおり文化交流・スポーツ交流が続けられているとの説明がありました。とても丁寧にして詳細にわたるアルバータ州の概要説

明でその魅力に引き込まれ、次の日からの視察研修への意気込みが強くなりました。

・ロイヤルアルバータ博物館

暴力と抑圧が繰り返されてきた先住民族(カナダインディアン)の文化や歴史・自然が数多く展示されています。部族集団は国内に 2200 箇所ある特定区域で生活をしていて差別や迫害がまだ続き闇に閉ざされていて、想像するよりも深刻な実態を知ることができました。恐竜化石・虫の展示もあり、沖縄への「国立自然史博物館」誘致に向け非常に参考になる展示内容、博物館でした。

・ウェストエドモントンモール

北米最大のショッピングモールは施設内のプール・人口湖など老若男女すべての人が楽しめる施設でその斬新なコンセプトは大型 MICE 誘致計画の中の本県にとって大いに参考になる施設でした。

・カナディアンロッキー

地球温暖化によりこれまでにない速度で氷河が溶けていると説明を受け、気候変動問題が危機的状況であることを実感しました。雄大なその自然をすることができるのは我々人間だということ。CO2 削減の取り組みの強化を急がねばなりません。

・ヘリテージパーク

カナダの歴史を再現するテーマパーク。開拓時代からの歴史をそっくり体験できる広大な土地を有する地域だからこそこのテーマパークであり、カナダの歴史教育には最適の公園です。

・沖縄県人会フェスティバル(日加友好庭園にて)

県人会の芸能フェスティバルでは各地域の皆さんが日頃から練習を重ねてきた芸能を披露してくれました。前回の訪問でカルガリー県人会からエイサーの大太鼓がないということで、前回参加の「渡久地修」議員「又吉清義」議員「照屋守之」氏「照屋大河」氏と私の有志で大太鼓を寄贈したが、その太鼓を使って県人会の皆さんとりわけ子どもたちが勇壮にエイサーを踊る姿には感動で胸がいっぱいになりました。また、沖縄県の派遣事業の芸能指導の下で多くの皆さんが歌、三線に慣れ親しんでいること、温かい事業の継続に現地の皆さんから心からの感謝の意が述べられました。最後は素晴ら

しい晴天の下全員でカチャーシーを踊り、皆さんの満面の笑顔がカナダの地で花咲き忘れられない空間となりました。

・ 県人会墓地にて墓参(アーチマウント墓地)

沖縄県人として最初に移民としてカナダとの絆をつくった牧志安能氏ら多くの県人が眠る墓地にて献花をし全員で黙とう・哀悼の意を表しました。

・ カナダ沖縄県人移民 125 周年祝賀会

アルバータ州の県人会の皆さんが勢ぞろいし、功労者表彰・感謝状表彰等が行われました。和気あいあいと歓談が繰り広げられ、私はバンクーバー、カルガリー、レスブリッジの旧知の方々との再会を心から喜び、2027年の世界のウチナンチュ大会での再会を誓い合いました。とても遠いカナダですが、私たちの心の距離はいつもすぐ近くにあると改めて実感した視察研修でした。団長はじめ委員の皆さん事務局・ツーリスト関わった全ての方に感謝を申し上げます。

令和7年度沖縄県議会議員海外派遣（カナダ）に係る団員の所感について 10

会派名： 公明党

氏名： 高橋 真

1. 派遣行程概要

令和7年8月25日から9月1日まで、6泊8日の日程で令和7年度沖縄県議会議員海外派遣団の一員としてカナダ・アルバータ州を中心に訪問した。

・8月25日

那覇空港発 → 羽田 → サンフランシスコ経由 → カナダ・カルガリー空港到着（移動日）

現地在住のウチナンチュや学生の温かい歓迎を受け、心強く感じた。特にカルガリー空港に到着した際はカナダ在住のウチナンチュの皆さんが横断幕を掲げてお出迎えがあり、心から感動した。

・8月26日

カルガリー市からエドモントン市へ移動。アルバータ州議事堂を視察し、政府関係者と意見交換。

沖縄からの移民の歴史と支援の積み重ねについて学び、州政府による文化・教育・観光・産業等の取組を確認。

・8月27日

ロイヤルアルバータ博物館を視察。先住民族の歴史や生活様式に触れ、文化的多様性と保存の重要性を学んだ。

ウェスト・エドモントン・モール（巨大商業施設を活用した MICE）を視察。観光・交流拠点として活用事例を確認。

・8月28日

カナディアン・ロッキーを視察。自然環境保護の取組について説明を受け、観光と自然保全の両立の実例を学んだ。

・8月29日

レスブリッジ市へ（移動日）

・8月30日

日加友好庭園にてバンクーバー沖縄県友愛会、レスブリッジ沖縄文化協会、カルガリーオキナワクラブ、トロント球陽会、沖縄カナダ協会など各県人会によるエイサー、三線、獅子舞などの歓迎を受けた。

アーチマウント墓地にて慰霊祭 池田副知事、中川議長をはじめ県議会代表団と共に献花・追悼を行い、先人の労苦と功績をしのいだ。

沖縄移民 125 周年記念式典に参加

・8月31日～9月1日 カナダ・カルガリー空港発 → ロサンゼルス経由 → 羽田 → 那覇着（移動日）

2. 所感

(1) 移民の歴史と県系人の功績

沖縄からの移民が歩んできた125年の歴史と、その中で築き上げられた功績を現地で実感した。農業、教育、文化、産業など広範な分野における貢献は、今日のカナダ社会に確固たる位置を占めている。現地で活躍するウチナーンチュの姿に、郷土への誇りと感銘を深くした。

なお、今回の訪問にあたり、長年にわたり県系人としてご活躍されてきた金城ピーター雅春氏の温かい御尽力と御配慮に深く感謝申し上げたい。現地での交流が円滑かつ実り多いものとなったのは、同氏をはじめ県系人の皆様のおかげであり、その献身に心より敬意を表する。

(2) 地域づくりと政策への示唆

アルバータ州の視察を通じ、自然環境保護と観光振興の両立、MICE施設を核とした国際交流促進、行政と地域社会が一体となって進める公共サービスなど、多くの先進的な取り組みを学んだ。これらは沖縄における政策形成にとっても有益な示唆となるものである。

(3) 次世代への継承と交流の拡大

125周年記念式典では、多くの県系人二世・三世の方々が経済・教育・文化分野で活躍する姿を目の当たりにした。移民の歴史を若い世代に継承しつつ、沖縄とカナダ双方の人材交流やネットワークづくりを進めることが、今後の発展に不可欠であると確信した。

(所感報告・了)

